

コード	102010102
記入日	H25.5.31

課コード	117
課名	観光物産課
課長名	中島 紀昌
担当者	竹内 和朗

# 事業評価表【途中評価】

作成年度	平成 25 年度
------	----------

評価対象事業名称	しま共通地域通貨事業
----------	------------

事業種類	継続事業
事業期間	平成 24 年度 ~ 平成 27 年度

総合計画の位置付け				財務会計の位置付け	
政策コード	1	政策名称	にぎわいを創る地域交流の促進	款コード	7
施策コード	102	施策名称	しまの交流ネットワークづくり	項コード	1
基本事業コード	10201	基本事業名称	地域間交流の推進	目コード	3
事務事業コード	1020101	事務事業名称	観光振興事業費	細目コード	140
関連計画			法令・条例規則等		

## 計画 (PLAN)

※単年度繰返事業については、全体欄を\*\*\*\*\*とする。

対象：誰、何を対象にしているのか		対象指標：対象の大きさを表す指標				
(対象1) 観光客延数		(対象指標1)	239,000人 (目標値)			
(対象2)		(対象指標2)				
事業の概要：具体的なやり方、手順、詳細を記入		活動指標：事務事業の活動量を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・長崎県内の島(対馬市、壱岐市、五島市、小値賀町、新上五島町、佐世保市宇久町)で使用できるプレミアム付きしま共通地域通貨を発行し、島外から訪れる観光客等を対象に販売を行う。加盟自治体はプレミアム分の負担金が発生する。①券種、販売単位：千円券1種類、千円券6枚を1セット5,000円で販売、②使用期限：発行から6ヶ月以内、③販売方法：旅行代理店、本土及び島内販売所、④使用できるしま店舗：発行委員会が認めたしま加盟店舗	(平成24年度) ・しま共通地域通貨「しまとく通貨」を発行し、平成25年4月1日から販売する。 ・しま共通地域通貨「しまとく通貨」の換金請求額が全体の発行額の1割を目標とする。	しま全体発行セット数	60万セット	33.3%	60万セット×3年間	平成27年度
		しま全体発行セット数	60万セット	100%		平成24年度
		① (達成率分析)	計画どおり、しま共通地域通貨「しまとく通貨」を60万セット発行し、平成25年4月1日から販売する。			
		② (達成率分析)				
目的：何をしたいのか		成果指標：目的の達成度を表す指標・達成率 (上段：全体、下段：評価年度)				
(全体)	(評価年度実績)	(指標名称)	(指標数値)	(達成率)	(達成率積算根拠)	(目標達成年度)
・長崎県内の複数のしま共通で使えるプレミアム付き地域通貨を発行し、全国からの観光客やビジネス客をしまに誘致し、しまでの消費促進を図り、しまの地域経済を活性化することを目的としている。また、しまが持つ特色や地域資源を全国に向けてPRすることで、交流人口の増加を通じて、しまの人口減少に歯止めを掛けることを目的としている。		観光客延数(増加数)	117,000人	0%	39,000人×3年間	平成27年度
		観光客延数(増加数)	0人	0%		平成24年度
		① (達成率分析)	平成25年4月1日からの販売であるため、平成25年度以降からの成果となる。			
		② (達成率分析)				
		観光消費額(増加額)	19.89億円	0%	39千人×17,000円×3年間	平成27年度
		観光消費額(増加額)	0億円	0%		平成24年度
		② (達成率分析)	平成25年4月1日からの販売であるため、平成25年度以降からの成果となる。			

## 実施 (DO)

※単年度繰返事業については、評価終了した年度及び評価年度を記載し、その合計を全体計画欄に記載する。

	単位	全体計画		23年度以前	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度以降
		計画	実績	実績	計画	実績	計画	計画	計画	計画
活動指標	① セット	1,800,000	600,000		600,000	600,000	600,000	600,000		
	②									
成果指標	① 人	117,000				39,000	39,000	39,000		
	② 億円	19.89				6.63	6.63	6.63		
総事業費 C (A+B)	千円	227,597	4,406		3,368	4,406	74,743	74,743	74,743	
直接事業費 A	千円	223,397	3,006		3,368	3,006	73,343	73,343	73,343	
人件費 B	千円	4,200	1,400			1,400	1,400	1,400		
内	従事職員数	人	0.6	0.2		0.2	0.2	0.2		
訳	人件費単価	千円	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000	7,000
C の 財 源 内	国補助金	千円								
	県補助金	千円								
	起債	千円	3,100	2,800		3,100	2,800			
	その他	千円	219,900				73,300	73,300	73,300	
訳	一般財源	千円	4,597	1,606		268	1,606	1,443	1,443	

**評価 ( CHECK )**

※理由の欄は必ず記載すること。

1次評価	妥当性	・時代情勢、社会環境の変化及び住民のニーズなどを考慮しても、事業を継続する必要がありますか。	● ある ない	理由	県内の離島では人口減少や住民の高齢化が進み地域経済の低下が著しい。しまの活性を回復させるためにも地域経済の底上げを図る必要があることから、しまの経済を直接的に刺激する本事業は不可欠である。
	有効性	・現在の事業の進め方は、期待されるような成果をもたらしていますか。	● いる いない	理由	県内のしまで使えるプレミアム付き地域通貨を発行することで、しまでの消費促進を図り、しまが持つ特色や地域資源を全国に向けてPRすることで、しまの人口減少に歯止めを掛けることを目的としており、しまの活性化の起爆剤となり得るものとして有効である。
		・事業の成果をさらに向上させる余地はありますか。	● ある ない	理由	長崎県内の離島全体での取り組みであり、それぞれの島の持つ魅力をそれぞれに磨きをかけることで、長崎県内の離島全体の知名度向上につながる事が期待される。単独団体でのPRに比して、しま市町連携による情報発信力がより協力になる。
	効率性	・現在の事業は、費用や業務量に見合った活動結果が得られていますか。	● いる いない	理由	県内しま市町が連携した取り組みであることから、単独の誘客活動によりも格段の成果がもたらされる。
・より少ない費用や業務量で必要な活動結果が得られる手法に代えられませんか。		代えられる ● 代えられない	理由	県内しま市町連携による取り組みによってコストを抑えることができており、これに代わる手法はない。	

**改善 ( ACTION )**

1次評価	前回の途中評価における「改善策」と「その反映状況」	***** (平成24年度からの新規事業) *****
	今後、課題に向けた改善策	しま共通地域通貨が利用できる店舗は加盟店に限られていることから、旅行者の利便性を高めるためには更に多くの加盟店に加盟してもらう必要がある。事業の重要性と必要性を未加盟店に訴え、理解してもらう必要がある。

2次評価	本事業は長崎県内の4市2町が島外からの観光客などの旅行者等を対象とした共通のプレミアム付のしま共通地域通貨を発行して、観光客を誘致し、しまでの消費促進を図ることを目的としており、交流人口の増加や地域経済の活性化に資する事業である。本町へ多くの観光客が訪れ、消費されるようPR活動をより効果的・積極的に展開していくこと。
------	---

3次評価 住民等の意見	
町の対応	

今後の事業の方向性	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> </tr> <tr> <td>●</td> <td>●</td> <td></td> </tr> </table>	1次	2次	3次	●	●		このまま事業を継続	<table border="1"> <tr> <th>1次</th> <th>2次</th> <th>3次</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>	1次	2次	3次				類似事業と整理統合
	1次	2次	3次													
	●	●														
	1次	2次	3次													
			事業内容を見直して事業を継続			事業の休止										
			事業費を見直して事業を継続			事業の廃止										

※3次評価については、住民等の意見があった場合にのみ、再公表するものとする。